制服リサイクル事業にご協力を！

制服や運動着のリサイクルをはじめています。チラシや口コミで少しずつ理解が深まり制服・柔道着・ランドセルなど集まってきて「必要とする方に」差し上げています。

学んだ学校の制服はあなたにとって大切な想い出ですが古くなると使用不可能になることもあります。後輩に、転校生に使っていただくことも美しい善意です。

クローゼットの奥で眠っている制服や運動着などありましたら、もう一度活躍の場を与えてください。必要とした生徒のにこやかな笑顔にいやされます。

東武東上線朝霞台駅北口、JR武蔵野線北朝霞駅東口より徒歩約5分。市内循環バス**産文入口**徒歩1分。

休 所 日
- 毎週木曜日
- 祝日(木曜日が祝日とかさなった日は、翌日も休み)
- 年末年始

利用時間
- 午前９時～午後５時

詳しくはリサイクルプラザまでお問い合わせください

朝霞市リサイクルプラザ
朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会
〒351-0033　埼玉県朝霞市大字浜崎664番地の2
☎048-486-0222

エコネットあさか 特集号

ごみを減らす3つの方法
3R（スリーアール） 知ってますか？

1．REDUCE(リデュース)
ゴミになるものを減らすこと

2．REUSE(リユース)
使った製品を再使用すること

3．RECYCLE(リサイクル)
もう一度原料として生かして使うこと

リデュース　リユース　リサイクル

朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会

エコライト作成

朝霞市クリーンセンター主催

3R啓発事業「ペットボトルでエコライトを作ろう！」

平成２８年７月２５日(月)朝霞市リサイクルプラザ３Ｆ活動室で小学４年生から６年生を対象に、「ペットボトルでエコライトを作ろう！」の講座を実施しました。今回は１８９名の沢山の応募がありましたが、定員が３６名のため抽選を行い参加者を決定しました。

最初に「レッツゴー３Ｒ」のＤＶＤを鑑賞してもらい、３Ｒについての学習をしました。その後、資源リサイクル課職員の他、朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会員１１名の方が各テーブルにつき、参加者のエコライト作成の指導をしながら、エコライトを作成しました。

エコライトが早めに完成した参加者は、ペットボトルにマジックで絵を描いたり、画鋲で細かい穴を開けて模様を施したり、参加者それぞれのエコライトを作成し、参加者全員時間内に作り上げることができました。

事業の最後に「３Ｒに挑戦しよう！」と題した３Ｒチェックリストで、今後自分たちが３Ｒについて普段何ができるのかを勉強してもらい、無事に事業を終えることができました。

夏休み親子教室

夏休み親子教室(サンドブラスト)

恒例の夏休み親子教室に今年はサンドブラストをやることになり、10組20名の募集をしたところ多数の応募がありました。8月3日10時、1組の不参加があったものの、9組19人の参加で教室が始まりました。参加者は小学3年生から6年生、男子1名女子8名と、お母さま方でスタッフもいるので普段はかなり広い工房も狭く感じるほどです。全員が初めての体験ということで、リサイクルプラザの簡単な役割とサンドブラストの説明を行い各自が持参したふた付きのガラスビンにどんな絵や文字を入れるか子どもたちがお母さんたちと相談しながら、頑張って考えていました。協議会の用意したイラストを使う子どももいましたが、カッティングシートにイラストを自分で描いてデザインナイフで余分なところを切り取るという作業を頑張ってやっている子もいました。イラストは9人それぞれ異なり、セミ・花・家・イルカ・ヤシの木など…自分の名前をローマ字や漢字ひらがななどで作ったらガラスビンに完成したシートを貼り余分なところをマスキングして準備完了。サンドブラストの機械で砂を吹き付けます。この作業も少しずつですが全員にしてもらいそれぞれの作品が完成です。できた作品をどう使うのか聞いてみました。鉛筆立て・小物入れ・自分の部屋に飾る・家のインテリア・お菓子入れ・花びん・たからもの入れなど、皆さん楽しんでくれたようです。難しかったところはほとんどが、カッターで切るところ、イラストを考えて描くという答えでした。カッターナイフを使うのでスタッフは注意して補助をしていましたが何事もなく無事故で終わることができました。参加してくれた親子の皆さんありがとうございました。

※サンドブラストとは、カッティングシートに書いた文字や絵を切り取り圧縮した空気で砂をガラスに吹き付けると、切り抜いたところがすりガラス状になり文字や絵がガラス面に写せます。

中国の親娘を迎えて

大歓迎! 中国親娘の環境講座

日本在住の中国女性からの紹介で、夏休みを利用してはるばる北京から環境問題を勉強したいと母娘が来館された。過去にはネパールの学生や村長さんも来られた経験もあったが、また、異文化交流ができるとスタッフ一同来日を楽しみにしていた。

固形石けん作り

爆竹はあっても花火はないとか、朝霞名物の花火も観ることができたと喜んでいた。中国の環境問題についてなかなか情報が得られない中、紹介女性の「中国の環境問題はこれから…」との言葉、更に低学年のうちにいろいろ学んで欲しいとの要望もあり、廃油からの石けん作り、古布から裂き織りでコースター作り、洗剤を使わなくても落ちるアクリルタワシ作りに挑戦してもらった。昼食後、交流会を持ち北京の日常のゴミ問題を話し合った。

さき織り

内容的には通訳にお世話になっての会話はなかなか骨の折れるもので、相手ももっと色々聞きたいことがあったと思うし、こちらも北京を知らないスタッフも多いことから情報はなかなかスムーズとはいかなかったが、いずれにしても国同士の話し合いより庶民の日常生活での会話の方が現実的でこれが異文化なのだと新たな発見があった。参加した女性は英語の教師で日本語も少々。小学1年生のお嬢さんは非常に礼儀正しく、忍耐強く、午前の講座、午後のクリーンセンター見学も大人と同じように受けて帰途につかれた。

クリーンセンターにて

中国の環境は比べてみれば日本の終戦後の様なもので、ほとんど分別はされていないとか、紹介の女性によれば「教えざるの罪」と表現された。しかし、庶民レベルで学びたいとやってこられたその姿勢は素晴らしく私たちも学ぶべき姿勢と謙虚でありたい。

アクリルタワシ作り

日本には街頭にほとんどゴミ箱がないことを困ると言われたが、我々もゴミ箱撤去当時しばらくは不便を感じたが、不思議なことに今はそれが当たり前になって意識していなかった。

北京のマンションでは集積場はなく各フロアー毎に集めるらしい。十数階上の住人がゴミを窓から捨てるなどということもあるらしい。大都会北京がこれなら田舎では推して知るべしかもしれないが、庶民同士のこんな問題のやりとりが今後大気汚染を解消し国同士の良好な関係にも繋がればと期待を持った交流だった。